

# 第 29 回 縮小社会研究会 報告



41名の参加で、化石燃料、再生可能エネルギー、省エネについて議論しました。

時：2015年7月25日（土）

所：京都大学 文学部 第3講義室

13:00-13:30 「現代のエネルギー問題とは何か」

石田靖彦（縮小社会研究会 理事） 録画 <https://youtu.be/xB1wLTNZMmE>

エネルギーは物理的実体だが、現代のエネルギー問題は社会や人間のあり方の問題になっており、資源・生産(転換)・利用という各側面の物理的対処では解決できない。ここでは、現代のエネルギー問題の本質を考え、正しい対処の方向を探る。

13:35-14:35 「石油系エネルギー資源の行く末を人類の知恵は乗り越えられるか」

田村八洲夫（川崎地質株式会社顧問）

録画 part\_1 <http://youtu.be/x6LAFWW3F28> part\_2 [http://youtu.be/pEL2\\_5JVHuQ](http://youtu.be/pEL2_5JVHuQ)

地球が人類に与えた石油ほどクリーンなエネルギーはない。それが早晩、生産デクラインし、このままでは文明が機能不全に陥る。天然ガスは石油の一部代替に過ぎない。石油系資源の生い立ちと性能を知り、その終末の宿命を考察する。

14:40-15:10 「ピーク・オイルの次はピーク・コールだ！」

五十嵐 敏郎（金沢大学 非常勤講師） 録画 <http://youtu.be/7Mq85cbBVNg>

石油資源ほど注目されないが、石炭資源もピーク・コールが囁かれ始めた。特に安価な石炭資源に依存して経済を発展させた中国では、2020年とも噂されるピーク・コールで大混乱が予想される。ウプサラ大学の資料を元に、この問題を解き明かす。

15:15-16:00 「縮小社会は縮小エネルギー社会—[再生可能エネルギーのみ社会]への道—」

尾崎 雄三（縮小社会研究会 会員）

録画 part\_1 <http://youtu.be/mAZVw4EH9Fg> part\_2 <http://youtu.be/NaW2IIEE73s>

縮小社会では総エネルギー消費削減と再生可能エネルギー利用が必要です。省エネはどのような技術があってもどこまで削減可能か、再生可能エネルギーのみを利用する場合の可能性と問題点について報告する。

16:05-17:00 「討論」



講演者4名のパネル討論風景

一般社団法人 縮小社会研究会

〒606-8227 京都市左京区田中里ノ前町21 石川ビル305

e-mail: [jimukyoku@shukusho.org](mailto:jimukyoku@shukusho.org)

HP: <http://shukusho.org/>